



人と自然と共に未来へ

—松川村 村制施行130周年—

長野県 松川村

令和元年

ごあいさつ



松川村長 平林明人

松川村村制施行130周年を迎えるにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本村は、明治22年の町村制施行により発足誕生して以来、今日まで単独村として歩み続けて参りました。この間、村を取り巻く環境が大きく変化する中、幾多の困難を乗り越えて堅実な発展を続け、ここに130年の節目を迎えることができました。

先の平成の大合併では、これまでの先人の方々が培い、守り育んできた松川村の素晴らしい自然環境をはじめ、独自の伝統・文化を、単独村として後世へ大切に受け継ぐ決意をしました。

経済情勢が目まぐるしく変化する今日、松川村はこれからも村の宝である子どもや恵まれた自然を大切に、村民みんなで更に住みよい村づくりを目指していきます。

今後とも皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

松川村について

松川村は、明治7年筑摩県の命令により松川、板取、神戸新田、鼠穴、細野5ヶ村が合併して松川村となり、明治22年の町村制施行により松川村が発足、誕生しました。

松川村は長野県の北西部、北安曇郡の南端、安曇野の北寄りに位置し、東西10.8km、南北7.3km、北西部には飛騨山脈(北アルプス)の雄大な山々、このアルプスを源流として、高瀬川・乳川・芦間川・中房川といった一級河川が流れる自然豊かな土地です。西には信濃富士と称される村のシンボル「有明山」、その麓には教科書にも載ったことのある神戸原扇状地が美しく広がり、緑豊かな大地に抱かれ、松川村は絶え間なく発展を続けています。



松川村130年のあゆみ

【明治】

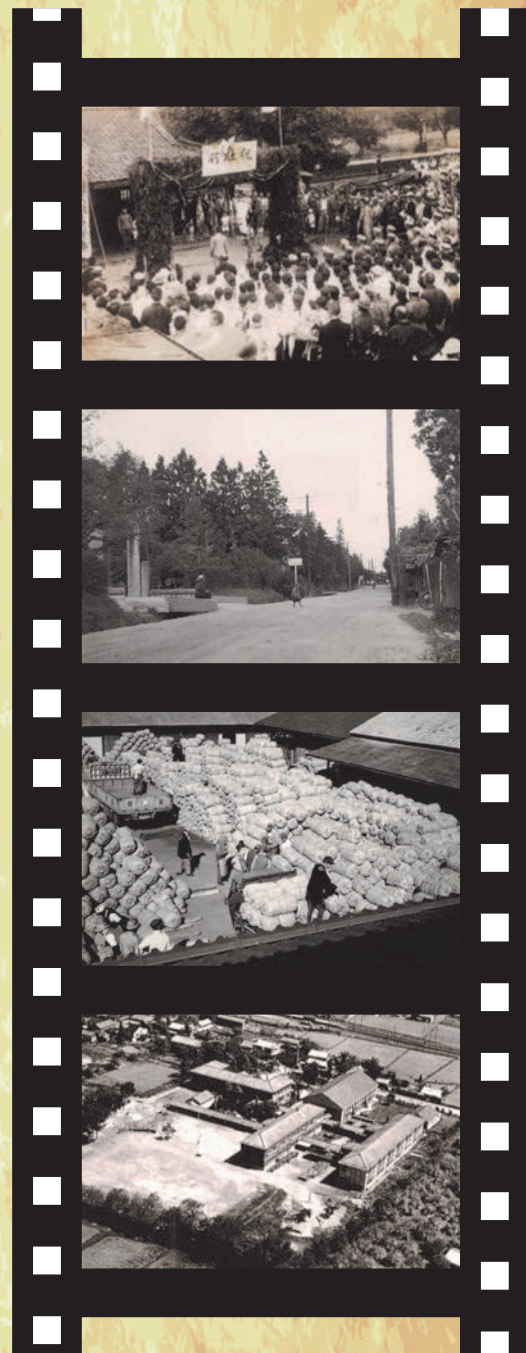
- 22年 町村制により松川村が発足する。
松川村の第1回村議会議員の選挙が行われる。
- 23年 大雨により高瀬川が洪水となり、堤防が決壊し原野・田畑・人家が流失。
- 25年 松川尋常高等小学校が緑町の現在の地に立つ。
- 27年 小学校火災。
- 28年 小学校校舎新築。
- 30年 鼠穴分教場焼失、翌年新築移転する。
- 35年 松川村郵便局事務開始。
- 36年 高瀬川渡船を新調する。
- 44年 松川村に電報配達開始（池田郵便局から）。

【大正】

- 元年 松川村に初めて電話が入る。
- 3年 板取消消防組が発足。中房川、乳川洪水により被害が出る。
- 4年 信濃鉄道が池田松川駅まで開通し、開通式が行われる。
信濃鉄道、大町—松本間全通。初めは蒸気機関車であった。
- 6年 松川村で最初の電灯が緑町につく。
- 7年 大町付近を震源とする地震（マグニチュード6.1）が起きる。
- 9年 高瀬川、乳川、中房川氾濫。
- 12年 榛葉太生氏により、初めて安曇節とその踊りが発表される。

▼（上より）

- ・託児所（昭和初期）
- ・田植え風景（昭和初期）
- ・安曇節研究会（昭和初期）
- ・細野神社（昭和13年頃）



▲（上より）

- ・出兵壮行会（松川駅）
- ・小学校校門前（昭和29年頃）
- ・米の出荷風景（昭和30年頃）
- ・松川小学校（昭和30年代）

松川村130年のあゆみ

▼(上より)

- ・集中豪雨災害(昭和44年)
- ・桜沢遺跡(村指定文化財)
- ・祖父が塚古墳(村指定文化財)
- ・鼠石



【大正】

15年 信濃鉄道が電車に変わる。

【昭和】

5年 信濃鉄道細野駅と池田松川駅間に「おかめまへ駅」を開設。

12年 信濃鉄道が国鉄に移管され、大糸南線となり、「おかめまへ駅」は「北細野駅」となる。

14年 池田松川回線電報送信を開始。

22年 松川中学校開校。

24年 第1回大北縦断駅伝競走で優勝。

26年 「松川村公民館報」創刊。

29年 松川小学校の完全給食が始まる。

30年 第1保育所開設。

31年 松川村最初の水道、反川組合水道ができる。

33年 鼠穴分校が廃止され、鼠穴と南神戸の児童は、松川小学校へバス通学となる。

34年 松川村役場新庁舎が完成。乳川・芦間川の堤防が決壊し、田畑に大きな被害を受ける。

38年 「広報まつかわ」創刊号発行。

41年 村章が制定される。

44年 集中豪雨により北細野付近の高瀬川堤防が決壊する。

47年 松川村の地籍調査が完了。



▲(上より)

- ・旧庁舎議会風景
- ・文化祭芸能発表会
- ・あめ市(昭和60年頃)
- ・ふるさと祭り(イベントストリート)

松川村130年のあゆみ

【昭和】

- 48年 松川村上水道完成。
給水を開始する。
- 50年 早起き野球連盟結成。
- 51年 第2保育所開設。
第1回元旦マラソンを
実施。
- 57年 町屋観松院「銅造菩薩
半跏像」が国重要文化
財に指定される。
- 58年 「ふるさと祭り」が始まる。
- 62年 大北広域消防南部消防
署発足。
- 63年 村民憲章・村花・村木が
制定される。
高瀬川大橋が完成。
松川村役場新庁舎が完
成。

【平成】

- 元年 村制施行100周年。
- 3年 温泉掘削成功。
村が「日本の米づくり百
選」に選ばれる。
- 4年 温泉施設「すずむし荘」
オープン。
- 6年 鈴虫が村の特別シンボ
ルに制定される。
- 7年 全国優良村表彰受賞。
- 8年 オリンピック関連道路開
通。
- 9年 安曇野ちひろ公園・美術
館オープン。
ルーラルまつかわ分譲開
始。
道の駅寄って停まつかわ
オープン。
- 10年 村防災行政無線開局。
長野冬季オリンピック開
催。

▼(上より)

- ・役場新庁舎落成(昭和63年)
- ・温泉掘削成功(平成3年)
- ・すずむし荘オープン(平成4年)
- ・ルーラルまつかわ分譲開始(平成9年)



▲(上より)

- ・安曇野ちひろ公園・美術館
オープン(平成9年)
- ・安曇野ちひろ公園
- ・安曇野ちひろ公園大花壇
- ・松川浄水苑供用開始(平成11年)

松川村130年のあゆみ

【平成】

▼(上より)

- ・婦人消防隊全国大会出場
(平成11年)
- ・人口10,000人達成
(平成12年)
- ・ふれあい館オープン
(平成12年)
- ・ゆうあい館オープン
(平成12年)



- 11年 村制施行110周年。
村婦人消防隊が全国大会に出場。
- 12年 下水道供用開始。
ふれあい館、ゆうあい館オープン。
人口1万人達成。
- 13年 松香荘オープン。
村づくり条例が制定。
- 14年 学校週5日制がスタートする。
- 16年 北保育園新園舎完成。
中央公園一部供用開始。
- 17年 正調安曇節生誕80周年。
- 18年 上緑町工業団地第1期造成完了。
自立の村づくり計画を策定。
- 19年 保健センターオープン。
- 20年 県消防ポンプ操法の自動車ポンプの部で準優勝。
上緑町工業団地第2期造成完了。
- 21年 村制施行120周年。
多目的交流センター「すずの音ホール」オープン。
国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)オープン。



▲(上より)

- ・松香荘オープン(平成13年)
- ・松川中央公園一部供用開始
(平成16年)
- ・県消防ポンプ操法大会(平成20年)
- ・すずの音ホールオープン
(平成21年)

松川村130年のあゆみ

▼(上より)

- 国営アルプスあづみの公園
(大町・松川地区)オープン
- 男性平均寿命日本一
(平成25年)
- 台湾鹿港鎮と友好都市協定調印
(平成25年)
- 松川村消防団公設100周年
(平成27年)



【平成】

- 22年 すずむし保護条例制定。
- 23年 南保育園新園舎完成。
- 24年 すずむし荘20周年。
- 25年 男性平均寿命82.2歳で
「男性長寿日本一の村」
となる。
台湾鹿港鎮と友好都市
協定調印。
池田松川学校給食セン
ター完成。
- 26年 村制施行125周年。
- 27年 松川消防団公設
100周年。
信濃松川駅開業
100周年。
正調安曇節生誕90
周年。
- 28年 安曇野ちひろ公園トッ
ちゃん広場オープン。
村内死亡事故ゼロ
2000日達成。
- 29年 信濃国松川響岳太鼓
結成30周年。
安曇野ちひろ美術館
開館20周年。
道の駅「寄って停まつ
かわ」オープン20周年。
- 30年 子ども未来センター
「かがやき」オープン。
台湾鹿港鎮との友好都
市協定5周年。
- 31年 村制施行130周年。
(令和元年) すずの音ホール10周年。



▲(上より)

- 信濃松川駅開業100周年
(平成27年)
- ちひろ公園トッちゃん広場
オープン(平成28年)
- 信濃国松川響岳太鼓結成30周年
(平成29年)
- 子ども未来センター「かがやき」
オープン(平成30年)



安曇野の原風景

信州安曇野に位置する松川村は、北西部に雄大な飛騨山脈(北アルプス)がそびえ、この北アルプスを水源とする高瀬川、乳川、芦間川、穂高川に囲まれた、緑豊かな農村地帯です。

西側から村内をやさしく見守る有明山は、標高2,268メートル、通称『信濃富士』とも呼ばれており、古代より山岳信仰の対象として、村民に広く親しまれています。

松川村は明治22年の町村制施行により発足誕生して以来、単独村としての歩みを地道に重ね、美しい山々とのどかな田園風景が織りなす、安曇野の原風景を今日まで守りつづけています。松川村は先人が培い、守ってこられたこの素晴らしい自然環境を、新しい令和の時代も、大切に受け継いで参ります。

松川村景 ▶



友好都市・台湾鹿港鎮との交流



▲松川中学校と鹿港鎮の中学生との交流

松川村は平成25年、台湾鹿港鎮と友好都市協定を締結し、これにより松川村と鹿港鎮は文化・経済面での交流を重ね、相互の国際交流の発展につなげて参りました。この協定により、松川中学校からはこれまでに約300名の中学生が訪台し、交流を深めています。

また、鹿港國民中學、鹿鳴國民中學の生徒も毎年松川村を訪れており、相互訪問に

よる中学生の国際感覚の向上が図られています。

平成30年には友好都市協定5周年記念式典が村内で開催され、これまでに築き上げてきた友好関係を互いに祝するとともに、式典では、交流を重ねてきた松川中学校と鹿港國民中學、鹿鳴國民中學間の姉妹校協定調印も行われました。

松川中学校にとっては国内外を通して初の姉妹校協定となり、今後益々の交流発展が期待されます。

子ども未来センター「かがやき」



平成30年4月、子育てに関する支援・相談・交流などがワンストップで行える施設として、松川村に子ども未来センター「かがやき」が誕生しました。

乳幼児向けの遊戯スペースや、小中学生を中心に誰でも利用可能な学習室、ボルダリング設備を備えた体育施設など、幅広い用途に対応した総合的な子育て施設として、多くの家族や子どもたちに利用されています。

松川村では他にも医療費助成や子育て世帯向けの充実したサポートプログラムなどを用意しており、「子どもは村の宝」をモットーに、子育てや教育への積極的な支援に取り組んでいます。





正調安曇節(松川村無形文化財)

正調安曇節は、松川村の医師・榛葉太生氏が、安曇地方を象徴する民謡がないことを残念に思い、古くからこの地方で唄われていた仕事唄の枠を取り、かつ現代人の気質を生かし、高尚な趣味としても満足のできる民謡を作ろうと考え、創作されました。

正調安曇節は独特のリズムを持ち、明るい田園のイメージや情緒あふれる素材にして優雅な民謡で松川村から全国に広がり、昭和58年には松川村無形文化財にも指定されました。

平成28年には、JR信濃松川駅前のセピア安曇野が「安曇節会館」としてリニューアルオープン、安曇節に関する歴史年表や文献が展示されるとともに、地域のコミュニティ活動や文化活動の拠点としても利用されています。

安曇節会館内展示 ▶



村章



村名「松川村」の頭文字「マ」を円形化して和を表現し、川の字を組み合わせましたものです。特に川は、村内を流れる高瀬川、乳川、芦間川の3川に意味づけ、水田を主とする純農村に力強く流れ、平和な本村の発展を象徴しています。

村花



レンゲツツジ

村木



アカマツ

特別シンボル



すずむし

村民憲章

松川村は、崇高な有明山のふもと、清い流れや肥沃な緑の大地に恵まれた、永い歴史と文化の香り高い村です。

私たちは、このふるさとをこよなく愛し、連帯の輪を広げ、さらに発展する村づくりに願いをこめて、ここに村民憲章を制定します。

- 一、うるわしい田園や水と緑を守り豊かな自然を後世に伝えます
- 一、先人の遺産を 向学の伝統を重んじ感性あふれる教育文化を高めます
- 一、健康につとめ 明るい家庭をつくり思いやりと感謝の心を育てます
- 一、未来をみつめ 仕事に励み活力ある郷土をつくります
- 一、ふれあいを大切に 力を合わせ心温かな松川村を築きます

昭和63年6月23日制定

村歌

松川村賛歌

作詞 野田正彦

勝野幸子

白澤ゆき子

清水眞弓

須沢恭子

須沢恭子

作曲

須沢恭子

一 アルプスの峰に 抱かれて

豊かに流る 高瀬川

緑の風の ささやきに

微笑み浮かぶ 松川の里

二 レンゲツツジ咲く 馬羅尾の森

せせらぎ渡る 鳥の声

有明山に 陽が落ちて

星空光る 松川の夜

三 黄金の稲穂 流れ雲

はずむ歌声 安曇節

何処にあれど 思い出さぬ

永遠に美わし 我がふるさと

The musical score is written in G major (one sharp) and 4/4 time. It consists of four systems of music, each with a vocal line and a piano accompaniment. The lyrics are written below the vocal line.

System 1:
 アレに ルンが フゲね スツの のツの みじい ねさな にくほ いばろ だおが かのれ れもく てりも

System 2:
 ゆせは たせす からむ にぎう なわた がたこ るるえ たとあ かりず せのみ ーがこぶ わえし

System 3:
 みあい どりす りあこ のけに かやあ げまれ のにと さひお さがいで きちる にてる

System 4:
 ほほと ほしわ えぞに みらう うひる かかわ ぶるし ままわ つつが かわの のさよと とるよ